

全体	60
個別	13-01

平成28年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課 名	総 務 課
-----	-------

No.	項 目	教育施設の充実・整備、有効活用を推進します。
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>平成23年2月4日に示された対馬市立学校適正規模、適正配置等検討委員会の答申を受け策定した「対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画」に基づき、保護者説明会及び住民説明会を実施し、学校及び地域住民の理解のもと学校統廃合を進めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○統合校 1校</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>保護者説明会及び地区住民説明会を実施し、大調小学校を金田小学校へ統合することについて、上槻・久根浜・久根田舎地区の合意を得ることが出来ました。平成30年4月1日に統合される予定です。</p>	
	3. 評 価	○
	<p>年度末までずれ込んでしまったものの、上槻・久根浜・久根田舎地区の合意を得ることができたのは、非常に高く評価できます。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画をもとに、保護者及び地区住民の意向を十分尊重しながら学校の統廃合を推進します。併せて子どもたちが安全で安心に学校生活を送れるよう施設の環境整備を進めていきます。</p>	

全体	61
個別	13-02

平成28年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	学校教育課
----	-------

No.	項目	確かな学力・豊かな心を育む教育活動の推進
	1. 組織目標	
	【内容】	
	【対馬の未来を担う人材育成のための教育の推進】	
		<ul style="list-style-type: none"> 1. 郷土を知り、愛し、未来につなぐ学びの充実 2. 指導力向上及び生徒指導の充実 3. 特別支援教育の充実 4. 学校不適応児童生徒を減らすための対策の充実・推進
	【指標】	
		<ul style="list-style-type: none"> 1. 郷土を知り、愛し、未来につなぐ学びの充実 <ul style="list-style-type: none"> (1) ESD教育を通じたふるさと学習と学力向上対策のための研修と実践奨励 (2) 中高が連携した教育実践数を増やす 2. 指導力向上及び生徒指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> (1) 研究会などを通して、少人数指導の工夫改善を奨励する (2) アクティブ・ラーニングの周知と各校1回の授業実践を推奨する (3) 子どもの人権保護を重視した生徒指導体制の改善（体罰の根絶） 3. 特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> (1) 県立虹の原特別支援学校高等部対馬分教室との連携を探る (2) SSWや関連機関との共通理解・共通実践に取り組む (3) 研修の充実と介助員の有効活用を図る 4. 学校不適応児童生徒を減らすための対策の充実・推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) SSW、SC及び教育相談員の効果的な活用 (2) 学校不適応及びその傾向にある児童生徒数の縮減 (3) 各学校、関係機関及びフリースペース「みちしるべ」との連携
	2. 実績(成果)	
		<ul style="list-style-type: none"> 1. 郷土を知り、愛し、未来につなぐ学びの充実 <ul style="list-style-type: none"> (1) ESD教育に関する各種研修会を実施しました。 (2) 上対馬高校と中学校2校との授業交流等を実施しました。 2. 指導力向上及び生徒指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> (1) 指導法改善研修会を小1回、中2回開催。研究指定校の研究充実に支援しました。 (2) 各種研修会や学校訪問の際に、次期学習指導要領に関する情報提供に努めました。 (3) 定例校長会及び教頭会において、体罰の根絶について繰り返し指導しました。 3. 特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> (1) 特別支援教育関係の研修会で、分教室教諭による講義を3回実施しました。 (2) SSW及び分教室と、各学期末に情報交換会を実施しました。 (3) 介助員及び教育相談員を対象とした研修会を実施しました。 4. 学校不適応児童生徒を減らすための対策の充実・推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) SSWが2名体制となり、相談機会の増加につながりました。 (2) SC対応児童生徒実数135名のうち86名が解消又は一定解消となりました。 (3) 毎月の不登校児童生徒報告を基に、状況把握と改善に向けての助言に努めました。
	3. 評価	○
		<p>各種研修会や学校訪問、研究指定校事業などを計画通りに実施し、教職員への指導や助言を通して、目標の実現に努めることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 確かな学力の定着に向けて、指導法改善研修会や複式指導法研修会等の各種研修会を実施して教職員の指導力向上に努めることができました。 (2) 10年経験者研修や学校訪問等の際に、道徳の授業参観や授業づくりの指導を行い、道徳教育の充実につなげることができました。
	4. 今後の展開	
		<ul style="list-style-type: none"> (1) 学力調査後に得られる各種資料を単なる分析に終わらせず、各学校の指導改善に結びつくようきめ細かな指導に努めます。 (2) 平成29年度は、郷土を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子供を育成するために、指導主事自身の資質向上と教職員への指導の充実に努めます。

全体	62
個別	13-03

平成28年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	生涯学習課
----	-------

No.	項目	スポーツ施設の整備・魅力化
	1. 組織目標	<p>【内容】 対馬市中央部に位置する峰総合運動公園陸上競技場は、現在、アンツーカー(土)のトラックで、雨天により使用が確実でなく、大会運営上支障をきたしていること、また、選手が県大会等島外に出場した際、全天候型トラックへの対応ができず力を発揮できないことがあることから、全天候型ウレタントラックに改修を行います。</p> <p>【指標】 全天候型ウレタントラック 300m、8レーン、跳躍ピット トラック内外(競技場敷地内)の芝生化 平成29年6月より施設利用開始予定</p>
	2. 実績(成果)	<p>全天候型ウレタントラック300m、8レーン、跳躍ピットの改修工事が平成29年3月末に完成しました。</p>
	3. 評価	<p>○</p> <p>目標どおりの施設改修及び工事期限までに完了し、充実した体育施設の整備を図ることができました。</p>
	4. 今後の展開	<p>施設整備の完了に伴い、利用促進及び利用者数の増大を図ります。</p>

全体	63
個別	13-04

平成28年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	生涯学習課
----	-------

No.	項目	芸術文化鑑賞の機会充実及び市民文化活動の支援
	1. 組織目標	<p>【内容】 ○美術鑑賞の機会の少ない対馬市において、県展入賞作品及び対馬市在住者の入賞作品を移動展示するとともに、児童や学生を対象に専門家によるワークショップ・実演などを行います。</p> <p>【指標】 ○作品出展数：100点ほど ○ワークショップ：油絵教室 小学校生5～6年生 20名程度化 ○来場者目標：1,000人</p>
	2. 実績(成果)	<p>○作品出展数：120点 (日本画8点、洋画23点、彫刻6点、工芸11点、書17点、写真41点、デザイン14点)</p> <p>○ワークショップ：(油絵教室) 比田勝小学校5～6年生23名</p> <p>○来場者数：320人</p>
	3. 評価	<p style="text-align: center;">○</p> <p>高度なすばらしい作品を展示することができ、優秀な芸術作品の鑑賞機会の少ない本市においては、市民の多くの方々に感動を与えられました。 さらにワークショップでの油絵体験学習は、学校の授業では機会が少なく、子どもたちの発想を豊かにする貴重な体験となりました。</p>
	4. 今後の展開	<p>市内における文化活動団体とも連携を密にし市民美術展等における質の向上、新規出展者の発掘・拡大等に努めるとともに、一人でも多くの市民の皆様文化芸術に関心を持っていただければと考えます。</p>

全体	64
個別	13-05

平成28年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	文化財課
----	------

No.	項目	文化財の保存・活用を図ります。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>① 指定文化財の保存整備を継続して実施します。</p> <p>② 「赤米サミット」を開催します。</p> <p>【指標】</p> <p>①国指定史跡4箇所、県指定史跡2箇所の整備事業に継続して取り組みます。</p> <p>②赤米伝統文化交流協定を締結している岡山県総社市、鹿児島県南種子町の関係者を迎え、赤米サミットを開催し、日本遺産の構成文化財である赤米について広くPRします。</p>	
	2. 実績(成果)	
		<p>①ほぼ計画どおり、保存整備工事を実施しました。</p> <p>②平成28年11月14日に開催し、赤米伝統文化交流協定を締結している岡山県総社市、鹿児島県南種子町の関係者、赤米諮問大使である相川七瀬氏にも出席いただきました。</p> <p>また、市民約50名、地元である豆敷小中学校の児童・生徒にも参加いただき、サミットに花を添えていただきました。</p>
	3. 評価	○
		<p>①史跡整備につきましては、計画どおり実施することができました。</p> <p>②赤米サミットにつきましては、関係者や地元の方に多数来場いただき、無事終了いたしました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>①史跡整備については、今後も事業を継続し、利用者の利便性の向上を図りながら有効活用を目指していきます。</p> <p>②赤米伝統文化交流協定を締結している岡山県総社市、鹿児島県南種子町との交流を深め、貴重な文化財の継承を図っていきます。</p>